

ハイ! まちづくり課です



町民の皆さんとの協働によるまちづくりを推進します

生活環境等維持管理業務

地域の道路や公園など、公共施設の維持管理活動を地域の皆さんから作業していただく場合、必要経費(消耗品、燃料、原材料、借上料など)を町が負担します。

昨年は23団体の皆さんから協働事業に取り組んでいただきました。



「協働」で雪の季節を乗り切りましょう!

町内会で大型の除雪機が入れない狭い小路などを除排雪する場合も「協働のまちづくり事業」の対象となります。

※町除排雪計画の都合上、作業前に必ず町まちづくり課へご相談ください。

※個人敷地の除排雪作業、大型除雪機、重機の借上料やオペレータ賃金は対象外です。

希望ヶ丘町内会
道路沿線清掃活動 (7月31日)



黒土シルバークラブ
道路沿線清掃活動 (6月16日)



富田千寿会
道路沿線清掃活動 (7月29日)



岩野老人クラブ
道路沿線清掃活動 (4月29日)



平ノ下町内会
道路沿線清掃活動 (6月12日)



五城目町グラウンドゴルフ協会
公園、広場等の美化活動(9月25日)



小野台町内会
美化活動 (6月25日)



浅見内活性化委員会
美化活動 (6月20日)



水沢町内会
道路沿線清掃活動 (8月8日)



みなさんのチャレンジをお待ちしています!

まちづくり活動チャレンジ支援事業

町では、地域課題の解決や連携促進、魅力普及など町民の皆さんが力を合わせて新たに取り組むまちづくり活動を支援します。

●対象団体

五城目町内に活動拠点を有する5人以上で構成される団体



●補助金上限額 25,000円 (補助率10分の10)

新たなまちづくり活動の企画についてのご提案、ご相談をお待ちしております。

※募集のあったチャレンジについては、町との協働による事業推進のための事前協議(ワークショップ)を開催します。

このほか、【まちづくり活動支援交付金制度(上限25万円、補助率10分の10)】もご用意しています。

協働のまちづくりに関するお問い合わせ 町まちづくり課 (☎852・5361)

館岡正雄さんが 県芸術文化章を受章



このほど、館岡正雄(本名・正雄)さん(71歳・一番町)が、県芸術文化章を受章され、12月16日に秋田市で授賞式が行われました。館岡さんは、朝翠流秋田吟詠会を設立されたほか、昭和56年の県吟剣詩舞道総連盟設立に関わり、副理事長に就任。平成28年からは同連盟の理事長を務めるなど、地域の吟詠の普及発展や後継者の育成に尽力されています。



このほど、佐藤テルさん(71歳・一番町)が紺綬褒章を受章され、その伝達式を12月13日に町役場で行いました。紺綬褒章は、公益のために寄附を行い、功績のあった方を表彰するために制定された国の褒章のひとつです。佐藤さんは、令和2年9月、本町の公益のために500万円を寄附され、町政の進展に大きく寄与されました。

佐藤テルさんが 紺綬褒章を受章



町内金融機関前で「振り込み詐欺」防止の呼びかけを行いました。



今までの取材や体験をもとに、町の活性化のための取り組みを発表しました。



山内番楽保存会の皆さんが出演し、「曾我兄弟」を勇壮に披露しました。

12・15日
年末の防犯活動で
犯罪被害防止などを呼びかけ

12月15日、町防犯協会と町防犯指導隊、五城目警察署の皆さんが合同で防犯活動を実施しました。今回の防犯活動は、12月10日から1月3日までの「年末年始の特別警戒期間」に合わせて実施。年金支給日となったこの日は、防犯協会や防犯指導隊の皆さんらが町

内金融機関前で「振り込み詐欺防止」の呼びかけや、町内小売店駐車場での「車の施錠パトロール」などを行いました。年末年始の時期は犯罪や事故などが増加する傾向にあります。今一度、気を引き締めて過ごしましょう。

12・10日
五城目二中3年生が総合学習発表
「町の未来を考える」

12月10日、五城目第一中学校3年生による総合学習の発表会が朝市ふれあい館で行われました。生徒たちは、「五城目町の未来を考える」をテーマに、町の活性化のために自分たちに何ができるかなどを発表。3つのグループから、「インターネットを活用して

町の魅力を発信し、関係人口を増やす」、「馬場目川の美化活動や魚の放流を行うなど、訪れた方々が川遊びできるように環境づくりに取り組む」、「少年議会を開き、私たち若い世代が町の活性化のためにアイデアを出し合う」などの意見がありました。

12・5日
山内番楽保存会の皆さんが
「あきた伝統芸能フェスティバル」に出演

12月5日、あきた芸術村わらび劇場(仙北市)で「あきた伝統芸能フェスティバル」が行われ、本町から山内番楽保存会の皆さんが出演しました。あきた伝統芸能フェスティバルは、秋田県や東北地方の地域で大切に受け継がれてきた伝統行事や

民俗芸能を通じて、多種多様な伝統文化に触れる機会を作ろうと行われたものです。出演7団体中3番目に公演を行った山内番楽保存会の皆さんは、曾我十郎・五郎兄弟の戦いぶりを表現した番楽の演目「曾我兄弟」を勇壮に披露しました。